



香取 照幸 教授

香取 照幸（かとり てるゆき）Teruyuki KATORI

上智大学総合人間科学部教授、一般社団法人未来研究所隊龍代表理事。

1956年10月3日生まれ、東京都出身。

麻布学園中学・高校から1980年東京大学法学部卒、同年旧厚生省入省。

在フランス OECD 事務局研究員、埼玉県生活福祉部高齢者福祉課長、厚生省高齢者介護対策本部事務局次長、内閣官房内閣参事官（小泉総理大臣官邸）、同審議官、厚生労働省政策統括官（社会保障担当）、年金局長、雇用均等・児童家庭局長を歴任。その間、介護保険法、子ども・子育て支援法、GPIF改革等の制度創設・改革を担当。また、内閣官房内閣審議官として「社会保障・税一体改革」を取りまとめた。2016年厚生労働省退官、2017年在アゼルバイジャン共和国日本国特命全権大使。2020年4月より現職、同年8月より一般社団法人未来研究所隊龍代表理事。2022年4月より兵庫県立大学社会科学部研究科経営専門職専攻客員教授。

主な著書：

「介護保険制度史」（共著）、『教養としての社会保障』、『民主主義のための社会保障』、『社会保障論Ⅰ【基礎編】』、『高齢者福祉論』（いずれも東洋経済新報社）。

学会活動等：

日本医師会医療政策会議委員（2016-2018, 2022-2024）、東京都医師会「在宅医療協議会」委員・同「TMA 近未来医療会議」委員長、日本年金学会幹事、日本地域包括ケア学会評議員、日米医学医療交流財団理事。

2021年11月より総理官邸「全世代型社会保障構築会議」構成員、2022年8月より厚生労働省「医薬品の迅速・安定供給実現に向けた総合対策に関する有識者検討会」委員。